

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 579

所管部局	総務部	所管課	総務課	担当者名	河原林 正和
事業名	防災行政無線管理運営費			事業分類	ソフト事業
細事業名	防災行政無線管理運営費			政策体系	263
会計	一般会計	科目	9. 消防 - 1. 消防 - 4. 防災		

1. 事業の概要

平常時においては一般行政事務に関する通信を取り扱い、災害時等においては、災害対策基本法に基づく防災、応急救助、及び災害復旧に関する通信手段として防災無線局の維持管理。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

災害時等の非常時における情報伝達手段として整備した防災行政無線の維持管理を行う事業。

② 事業を実施する必要性

防災行政無線の維持管理を行うことは必要不可欠である。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	2,566	3,672	4,038	5,622	10,672	17,500	19,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,566	3,672	4,038	5,622	10,672	17,500	19,000
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.24	0.06			
人件費		千円	—	—	1,510	405			
事業費総額		千円	—	—	5,548	6,027			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

デジタル防災行政無線維持管理費 (光熱水費、土地借上料、電波利用料等)	857,448円
アナログ防災行政無線維持管理費 (修繕、保守点検、電波利用料等)	3,557,037円
移動系防災行政無線維持管理費 (保守点検、電波利用料等)	1,057,750円
孤立防止無線維持管理費(美山町) (通話料)	149,436円

5. 事業結果の概要

デジタル防災行政無線、アナログ防災行政無線、移動系防災行政無線、孤立防止無線の維持管理

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) アナログ固定系		
アナログ防災行政無線設備保守点検業務委託	契約 平成21年4月1日 完了 平成22年3月31日 検査 平成22年3月31日	
アナログ防災行政無線高山中継所及び屋外拡声子局電気料金支払	平成21年4月～平成22年3月	
防災無線電話料金支払	平成21年4月～平成22年3月	
電波利用料支払	平成21年12月16日	
防災行政無線屋外拡声装置バッテリー取替修繕業務委託	契約 平成22年3月15日 完了 平成22年3月26日 検査 平成22年3月26日	
戸別受信機取付	平成22年3月	
(2) 移動系		
移動系防災行政無線設備保守点検業務委託	契約 平成21年4月1日 完了 平成22年3月31日 検査 平成22年3月31日	
電波利用料支払	平成21年6月25日	
(3) デジタル固定系		
デジタル防災行政無線施設土地使用料支払	船岡中継 平成21年4月27日 長老ヶ岳中継 平成21年4月27日 静原中継 平成21年4月27日 八木反射板 平成21年5月25日	
デジタル防災行政無線船岡中継所電気代支払	平成21年4月～平成22年3月	
戸別受信機取付	平成21年4月～平成22年3月	
電波利用料支払	平成22年2月18日、平成22年4月2日	
地区遠隔制御装置電話回線使用料支払	平成22年1月～平成22年3月	
(4) 孤立防止		
孤立防止無線通話料支払	平成21年4月～平成22年3月	

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

各地域でも防災行政無線を活用した情報伝達が行われており、良好な状態で防災行政無線の機能を維持するための点検等は欠くことのできないものである。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点
なし。
- ②当該事業のアピール事項
行政情報や有事の際の瞬時の情報伝達など重要な設備であり、常に良好な状態で管理する必要がある。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
防災無線の運用を最大限に活用していく。